

山林用主要苗木の標準規格設定について

〔昭和33年12月24日付け33林野造第16622号〕
林野庁長官より都道府県知事あて

最終改正：令和5年5月1日付け5林整整第10号

山林用苗木の規格は、技術面の全国的資料の不備なことなどから、各都道府県ごと、まちまちに設けられているため、苗木流通の円滑化を欠くなど、種苗行政推進上極めて不便であって、統一された規格の設定が望まれる。

しかしながら理想的な規格の設定は、現段階において困難であるので、これは今後の研究にまつことにし、上述の不便を除去し得て、また、生産管理等にも役立つものとして、さしあたって、現在、各都道府県において用いられている規格を分類整理のうえ、それを適用してゆくことが適当であると考えられる。

以上のことから、関係方面の意見をきいて別紙の通り「山林用主要苗木の標準規格」を定めたから、今後は、この標準規格によって貴都道府県の規格を設定の上、実施願いたく通知する。

別紙

1 山林用主要苗木標準規格（裸苗）

（単位：長cm、根元径mm）

樹種	区分 規格 苗令	1 号		2 号		3 号		4 号		5 号		6 号		長の最高 限度
		長	根元径	長	根元径	長	根元径	長	根元径	長	根元径	長	根元径	
すぎ (実生)	1 年生	12上	-	10上	-	8上	-	6上	-	-	-	-	-	15
	2 年生	45上	7上	35上	6上	30上	5.5上	25上	5上	20上	4.5上	15上	4上	65
	3 年生	60上	12上	55上	11上	45上	9上	35上	8上	30上	7上	25上	5上	75
すぎ (挿木)	1 年生	60上	10上	45上	7上	35上	6上	30上	5.5上	25上	5上	20上	4.5上	70
	2 年生	75上	11上	60上	10上	55上	9上	45上	7上	35上	6.5上	30上	6上	85
ひのき	1 年生	12上	-	10上	-	8上	-	6上	-	-	-	-	-	15
	2 年生	45上	6上	35上	5上	30上	4.5上	25上	4上	20上	3.5上	-	-	60
	3 年生	60上	9上	55上	8上	45上	7上	35上	6上	30上	5上	-	-	70
あかまつ	1 年生	12上	-	10上	-	8上	-	6上	-	-	-	-	-	15
	2 年生	40上	8上	30上	7.5上	25上	6上	20上	5上	15上	4.5上	-	-	50
	3 年生	45上	8.5上	35上	8上	30上	7上	25上	6上	20上	5上	-	-	55
くろまつ	1 年生	12上	-	10上	-	6上	-	-	-	-	-	-	-	15
	2 年生	30上	8上	25上	7上	20上	6上	15上	5上	-	-	-	-	40
	3 年生	45上	9上	35上	8.5上	30上	7.5上	25上	6.5上	20上	5.5上	-	-	55
からまつ	1 年生	15上	-	10上	-	6上	-	-	-	-	-	-	-	20
	2 年生	70上	10上	60上	9上	45上	8上	35上	7上	25上	6上	-	-	85
	3 年生	70上	10上	60上	9上	55上	8.5上	45上	8上	35上	7上	-	-	90
えぞまつ とどまつ	2 年生	15上	3上	10上	2上	-	-	-	-	-	-	-	-	20
	4～5年生	35上	11上	30上	10上	25上	8上	20上	8上	-	-	-	-	45

- 註
1. 本表を適用する苗木は、取引の対象とする山行苗並びに床替苗とする。
 2. この表を適用できないものは規格外とする。但し従来より特殊規格を習慣的に用いている都道府県において、必要と認める場合は当該府県の規格の特号として設けてもよい。
 3. 本表の長45上は長さ45cm以上。
根元径7上は根元径7mm以上をそれぞれ意味する。
 4. 苗令は民間において用いられるところによる。
 5. 本表適用方法
 - (1) 自県における苗木の生産状況及び他府県との流通等の状況を勘案して、樹種別、苗令別に本表の区分中最も適当と認められる該当号にあてはめる。
 - (2) (1) により決められた県の規格には、その県の技術的資料等から、TR比、枝張、根張の状況、生長休止の時期等による条件をなるべく附すものとする。
 - (3) 本表を適用して決めた各都道府県の規格表の区分号の表示はどの様に表わしてもよいが、(例えば、大、中、小の如く)必ず本表の何号に相当するか併記する。
 6. 表の使い方の具体的な例
 - (1) スギ2年生 長46cmで根元径11mmの苗木は1号を適用する。
 - (2) スギ2年生 長36cmで根元径5.5mmの苗木は3号を適用する。

2 山林用主要苗木標準規格（コンテナ苗）

（単位：苗長cm、根元径mm）

（単位：苗長cm、根元径mm）

樹 種	1 号		2 号		3 号		4 号		5 号		6 号		苗木の状態
	苗長	根元径	苗長	根元径	苗長	根元径	苗長	根元径	苗長	根元径	苗長	根元径	
すぎ	80上	7.5上	60上	5.5上	50上	4.5上	40上	4.0上	30上	4.0上	-	-	・出荷時に自立せず湾曲するものは規格外とする。 ・露出した状態の根鉢を軽く振って、培地が崩れ落ちる状態のものは規格外とする。
推奨容量	300cc以上		200cc以上		100cc以上		100cc以上		100cc以上		-		
ひのき	80上	6.0上	60上	4.5上	50上	4.0上	40上	3.5上	30上	3.5上	-	-	
推奨容量	300cc以上		200cc以上		100cc以上		100cc以上		100cc以上		-		
からまつ	80上	7.5上	60上	5.5上	50上	4.5上	40上	4.0上	30上	4.0上	-	-	
推奨容量	300cc以上		200cc以上		100cc以上		100cc以上		100cc以上		-		
あかまつ	-	-	-	-	-	-	40上	7.0上	30上	5.0上	20上	4.5上	
推奨容量	-		-		-		100cc以上		100cc以上		100cc以上		
くろまつ	-	-	-	-	-	-	40上	7.0上	30上	5.0上	20上	4.5上	
推奨容量	-		-		-		100cc以上		100cc以上		100cc以上		

注： 1. 本表は標準的な規格を示すものであり、実際の運用に当たっては地域の苗木生産・流通状況を勘案のうえ、各都道府県において設定してさしつかえない。

2. 根元径については、根系の発達度合を考慮し、下限値をすぎ・からまつで4mm、ひのきで3.5mm、あかまつ・くろまつで4.5mmとし、各号の閾値は推奨される形状比を目安に設定した。なお、苗長のみ規格に該当し、根元径が満たない場合は、根元径の該当する規格とする。

3. 形状比については、すぎ110、ひのき140、からまつ110、あかまつ・くろまつ60を推奨値とする。

4. 推奨容量は、植栽後の成長の観点から号数毎に推奨されるコンテナの容量を示す。

5. 根鉢の成形性の目安として、根系被覆率20%以上であることが望ましい。

6. 育苗に使用するコンテナは、容器の内面にリブ（縦筋状の突起）やスリット（縦長の隙間）を設け、容器の底面を開けるなどによって根巻きを防止できる容器であること。

※本表は、令和4年度時点で得られたコンテナ苗に関する知見及び苗木流通状況に基づき整理したものであり、データが集まり次第必要に応じて改正する。